

令和5年度 第1回岐阜県農業農村整備委員会 議 事 要 旨

1 日時 令和5年11月2日（木）13時30分～16時

2 場所 岐阜県土地改良事業団体連合会

3 出席者 別紙のとおり

4 議題

- 1 委員長の選任について
- 2 岐阜県棚田地域振興計画の令和4年度進捗状況について
- 3 日本型直接支払制度の令和4年度実績等の評価について
 - (1) 多面的機能支払交付金について
 - (2) 中山間地域等直接支払交付金について
 - (3) 環境保全型農業直接支払交付金について
- 4 ぎふ農業・農村基本計画アクションプログラム（農業農村整備部門）
令和4年度実績の評価と今後の方針について

5 議事要旨

- 1 委員長の選任について
 - ・委員会事務局が、委員長選任について意見を求めた。
 - ・委員からの主な意見は以下のとおり。
 - 佐竹委員
これまでの実績や経験を踏まえ、これまでも委員長を務めていただいていた、松本委員にお願いしてはどうか。
 - 國本委員他6名
異議なし。
 - 兼山技術課長補佐兼係長
異議がないようなので、松本委員に委員長をお願いすることにする。
 - 松本委員長
委員会規則により副委員長を決めたいが、欠席の森委員に引き受けていただきたいがどうか。
 - 兼山技術課長補佐兼係長
指名があった際は、本人から引き受けていただけると聞いている。

2 岐阜県棚田地域振興計画の令和4年度進捗状況について

・農村振興課から、岐阜県棚田地域振興計画の令和4年度進捗状況について説明が行われた。

・委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 松本委員長

進捗率61%である農林漁業体験者数についての要因は何か。

➤ 兼山技術課長補佐兼係長

コロナ禍でかなり減少し、ぎふの田舎へいこう推進協議会の協力も得ながら徐々に回復しているところだが、コロナ禍前までの回復には至っていない。

○ 松本委員長

ポータルサイトの閲覧数が少ない気がする。農業農村に限定してはどうか。

➤ 兼山技術課長補佐兼係長

環境生活部の指標であるが、令和4年度にコンテンツの充実を図り、令和5年度になってから徐々に閲覧数が上がっていると聞いている。ご指摘の事については、次期計画を策定時に検討したい。

3 日本型直接支払制度の令和4年度実績等の評価について

(1) 多面的機能支払交付金について

・農村振興課から、多面的機能支払交付金について説明が行われた。

・委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 佐竹委員

熊の被害をニュースでよく聞くが、地域資源の適切な保全管理の「鳥獣被害の抑止」の項目が評価Bになっているのはいかがなものか。

➤ 岩本課長

今回の評価に関しては、多面的機能支払交付金を活用した組織へのアンケートによって評価されたもので、多くの組織が柵を設置したことで一定の効果はあったと考えているということ。熊の対策については、別事業で各市町村に対する支援を行っていく。

○ 佐竹委員

我が社はイビデンから頼まれて、大豆を肉や海老の代用できるように開発を行っている。「6次産業化の推進」とあるが、開発費用や時間を費やして商品にならないものがたくさんある。企業の商品開発に対して補助を考えてはもらえないのか。そうすれば、企業がさらに率先して開発を行うと思う。

➤ 岩本課長

6次産業の関係については、農産物流通課が補助を担当している。委員からの意見は担当課にお繋ぎする。

○ 田中委員

営農組合や法人に耕作地を集めている中で、経費の値上がりによって6次産業に投資する余裕がない。特に多面的機能支払交付金は、農家に直接渡らない交付金のため、「6次産業化の推進」をするには、別の形の交付金が必要ではないか。

○ 浅谷委員

水路や農道の整備は年間計画を立てやすいが、農作物は年によって取れ高が異なるため、計画を立てて結果を出すのが難しい。多面的機能交付金で計画を立ててやるのが難しいため、豊作の時に販売先など企業とのマッチングを県にしてもらえると助かる。

➤ 岩本課長

持続的に地域を維持していくためには、バランスを上手く保つことを継続していくことが大事であり、農地の利用集積が進めば経済的には少しでも収入が上がるため、多面的機能支払交付金は必要であると考える。

(2) 中山間地域等直接支払交付金について

- ・農村振興課から、中山間地域等直接支払交付金について説明が行われた。
- ・委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 松本委員長

要望に対して全額交付されたか。

➤ 野田係長

99.4%であった。今後、国からの交付額が下がる恐れがある。

○ 田中委員

農家に半分は入る交付金なので助かっている。ただ、平地に対する交付金がなく、実際草刈りだと平地のほうが面積が多い。

(3) 環境保全型農業直接支払交付金について

- ・農産園芸課から、環境保全型農業直接支払交付金について説明が行われた。
- ・委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 松本委員長

有機農業を行うことによって発生するリスクに対する保険という意味合いであるか。今後、温暖化によって害虫が増えてくる恐れもある。

支払に関して割り増して交付することもあるか。

➤ 服部主任技師

有機農業ということで収量は低下し、害虫による被害もある。ただ、単価は上がることはなく平成27年度に決められた12,000円から上がることはない。

○ 林委員

カバークロープの取組みで弊社も交付金をもらっているが、今年から鶏糞堆肥を散布する予定で、一反当たりの最低散布量を教えてほしい。また、秋耕の詳細を教えてほしい。

➤ 服部主任技師

堆肥散布については水稻の場合は10a当たり1トン以上、水稻以外の場合は10a当たり1.5トン以上と決められている。秋耕は収穫後に田起こしを行い、春に深水管理を行う必要がある。ただし、同じ圃場で2つの取組みを行っても片方の交付金しか支払われない。

○ 國本委員

持続可能な農業の推進とのことだが、労働力問題の観点から農薬を使わないことで影響を受ける。それが有機農業の進まない理由ではないか。対策はあるのか。

➤ 河合技術課長補佐兼係長

スマート農業におけるドローンの利用や農薬のスポット散布、天敵農薬を用いて有機農業面積を増やすことを目標にし、積み重ねながら実現していきたい。

○ 田中委員

輸入の糞を牛に与えたことあるが、その牛糞を使用したら除草剤の効かない草が生えたこともあったため、土壌改良剤と考えればありだが一概に良いものではない。

➤ 河合技術課長補佐兼係長

糞は発酵させれば高温状態になり草の種も死んでしまうが、十分に完熟させないといけない。

○ 波能委員

秋耕に関して、温室効果ガス対策について効果があるようだが、取組面積が少ないのは水を張る必要があるためか。

➤ 服部主任技師

交付単価が安価であり、単価の高いカバークロップなどと併用して交付金の申請ができない。多くの人がカバークロップなどで申請しているため、数値としては取組みが少ないように見えるが、実際は取り組んでいる農家は多いと考える。

4 んふ農業・農村基本計画アクションプログラム（農業農村整備部門）
令和4年度実績の評価と今後の方針について

・農地整備課から、んふ農業・農村基本計画アクションプログラムについて説明が行われた。

・委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 松本委員長

BCP とは何の略か。具体的にどういうことか。

➤ 田口次長

Business Continuity Plan の略である。企業では一般的に使われており、何か起きたときに重要な業務を継続できる方策をあらかじめ想定しておくことである。

○ 田中委員

人口が減少する中、農地として利用し続けることに疑問を感じる。圃場整備済みの農地など条件の良い農地をしっかりと守っていくほうが良いのではないか。

○ 松本委員長

耕作放棄地を 10ha 解消していくとはどういう意図か。

➤ 岩本課長

実際は年間 10ha 以上耕作放棄地が発生しているが、県としてはひとまず年 10ha は解消していこうと考えている。現在、各地区で地域計画の策定が進められており来年度までに策定することとされている。地域内の話し合いにより地域の将来の農地利用の姿を明確化なものであるがその中で林地化など耕作を辞める農地の利用法についても検討の必要があると考えている。

○ 波能委員

各務用水の遠隔監視装置を令和5年度の4月から利用できるようにしてもらい大変助かった。今年は何ラ豪雨が何回も起こったが、災害から免れることが出来た。この場を借りて感謝を申したい。

令和5年度 第1回岐阜県農業農村整備委員会 出席者名簿

□委員 10名 出席 8名

(50音順)

氏名	主な職名	備考
浅谷 満実子	NPO法人恵那市坂折棚田保存会 事務局	出席
國本 真志登	岐阜新聞社 取締役 統合編集局長	出席
佐竹 輝美	株式会社デリカサイト 執行役員 情報本部長	出席
下田 葉子	NPO法人ななしんぼ 理事	出席
田中 一男	有限会社エイドスタッフ 代表取締役	出席
近松 香代	生活協同組合コープぎふ 理事	欠席
波能 寿子	各務用水土地改良区 事務局長	出席
林 達也	株式会社DIB 代表取締役	出席
松本 康夫	岐阜大学 名誉教授	出席
森 誠一	岐阜協立大学 地域創生研究所 教授	欠席

□関係者等 23名

氏 名	所 属 ・ 役 職	備 考
(農政部)		
田口 博史	農政部次長	
(農村振興課)		
岩本 英司	課長	
兼山 雅史	農村企画係 技術課長補佐兼係長	
荒川 恵	農村企画係 技術主査	
佐藤 功一	農村企画係 主任技師	
野田 幸宏	農村支援係 係長	議題1、2、3のみ
北牧 希久子	農村支援係 技術主査	〃
岩井 七瀬	農村支援係 技師	〃
(農地整備課)		
加藤 祐一	課長	議題4のみ
今井 洋	技術指導監	〃
岡山 和広	農地防災対策室長	〃
久保田 健一	調査計画係 技術課長補佐兼係長	〃
奥田 晃司	事業管理係 課長補佐兼係長	〃
松原 光男	水利・小水力係 係長	〃
遠藤 利彦	農地・農道係 係長	〃
藤田 真司	総合整備係 技術課長補佐兼係長	〃
所 雅也	農地防災係 係長	〃
伊澤 晃	ため池防災係 係長	〃
中内 惇夫	調査計画係 技術主査	〃
(農産園芸課)		
河合 智周	ぎふ清流GAP推進係 技術課長補佐兼係長	議題1、2、3のみ
服部 貴哉	ぎふ清流GAP推進係 主任技師	〃
(岐阜県農地・水・環境保全推進協議会)		
菊田 修三	事務局長	議題1、2、3のみ
鈴木 潤	農地・水専門監	〃